

## 前線に伴う降雨による防災情報(第2報)

新庄河川事務所では、8月31日(金)0時0分、立谷沢川流域の雨量観測所において、時間雨量が40mmを超えたため、災害対策支部(警戒体制・砂防)を設置しました。

今後、天候の状況を見て砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

### 1. 新庄河川事務所の体制

8月30日(木)23時20分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

8月31日(金) 0時 0分 災害対策支部(警戒体制・砂防)設置

#### ※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害のおそれがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害のおそれがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害のおそれがある場合

### 2. 雨量情報(8月31日(金)0時0分現在)

[立谷沢川流域]玉川第六ダム雨量観測所 時間雨量40mm

[赤川流域] 大針雨量観測所 連続雨量84mm

荒沢ダム雨量観測所 連続雨量84mm

荒沢雨量観測所 連続雨量80mm

皿淵雨量観測所 連続雨量80mm

#### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262 (調査課直通)

副所長(砂防) さいとう 齋藤 かつひろ 克浩 (内線205)

調査課長 むらおか 村岡 あきら 章 (内線351)